

## イノベーション戦略策定事業について

(一財)機械システム振興協会(以下、「協会」という。)では、平成26年度から「イノベーション戦略策定事業」として、外部関係組織の皆様とともに革新的・先進的技術を基にした具体的な戦略づくりを進めています。

以下、本事業へのご参加を願って、その目的、概要をご紹介します。

### 1. 目的

市場の飽和、IoT化等の環境変化、利用者ニーズの多様化への対応といった自らの団体・業界の枠を越える課題が増えています。

この解決のためには、自らの団体・業界のみならず他の業界、あるいは社会全体をどう変えるのか、それには、異分野との連携、再構築、新しい概念の構成が前提となります。

その上で、構想の段階で多岐にわたる関係者による自由闊達な議論の結果、得られた知見をベースに具体的な戦略をつくりあげていくことを目的とします。

このような状況に対応するため、協会では、志を同じくする外部の関係組織とともに、具体的なイノベーション戦略づくりを行う場を設定し、検討していきます。

### 2. 概要

#### (1) 対象

アイデアはあるが具体的な計画を策定するに至っていない、あるいはより大きなシステムにするには現在の計画では不十分で更なる工夫が必要なものが対象です。

以下、現在の3分野を事例として想定しています。

##### ① 異分野展開

ある分野で実績のある技術を新たな需要先を求め異分野に展開するもの

##### ② 再構築

社会システムへの導入を念頭に開発された技術・システムに関して、その実証経験を踏まえつつ、プラットフォームの形成・モジュール化の推進等を図ることで、システムの柔軟性・発展性を最大限発揮できるよう工夫をこらすもの

##### ③ 概念構成

特定の社会システムに関して新しい概念(モデル)を構成するもの

なお、以下のものについては、対象といたしません。

- 市場動向等の調査をするだけでその後の戦略策定につながらないもの
- 目指すべきイノベーションの姿とそのために実施する来年度事業の内容が不明確なもの
- その他、弊協会と一緒に戦略づくりを実施する上で支障があるもの

#### (2) 戦略づくりを検討する場の設定

プロジェクトのリーダーやマネージャーを核として、多様な参加者による自由闊達な議論を進め、戦略づくりを検討する場(テーマ毎の戦略策定委員会)を設けます。

また、その検討組織や検討メンバーの変更・追加などには柔軟に対応します。

### (3) 自主財源を活用した予算措置

戦略策定に必要な費用は、協会の委託事業（全て100%補助対象）として実施しますが、その予算額は概ね5百～1千万円程度を考えています。

なお、事業の進捗に伴い事業計画や実施内容などの見直しが必要な場合には、柔軟に対応することが可能です。

### (4) 実施期間

本事業の実施期間は原則1年とします。複数年度を想定している場合には、ご相談に応じます。

ご参考までに、平成29年度事業の6テーマは以下のとおりです。

詳細は、当協会HP内：<http://www.mssf.or.jp/tyousakaihatu29.html> をご参照ください。

#### 【異分野展開に関するもの】

- ・光ファイバーを用いた新たな地盤探査技術を線状土木構造物へ展開することに関する戦略策定
- ・光相関技術によるWeb掲載違法動画等の超高速検索システムに関する戦略策定
- ・ファインバブル活用による除菌処理技術の食品分野への展開に関する戦略策定

#### 【再構築に関するもの】

- ・沖縄県国際医療拠点を中心としたメディカルロジスティクス構築に向けた戦略策定
- ・地域総合空間創造のための見守りコンシェルジュサービスに関する戦略策定

#### 【新たな概念構成に関するもの】

- ・ブロックチェーン技術の応用に関する戦略策定